



秋厚労ニュース

NO1844号

2018年5月28日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

方針づくり

各県の報告もとに

全厚労 拡大中央執行委員会

去る5月18日（金）、19日（土）の両日、東京都「新宿農協会館」にて、全厚労拡大中央執行委員会が行われ、全国から67名（秋厚労4名）が参加しました。全厚労2017年度総括・2018年度方針（案）について、各県の報告のあとに、意見が交わされました。



全国で起りつゝる異変に立ち向かう

全国厚生連労働組合連合会（全厚労）は、19道県にある厚生連労働組合など20団体が加盟しています。

全厚労拡大中央執行委員会は、年2回を目安に開催され、今回は2017年度総括・2018年度方針（案）についての論議が目的でした。

鹿角の運動突り

精神科常勤医師着任

秋田からは、①鹿角の精神科医師を求める運動が実

り常勤医師2名が着任②鹿角で産婦人科医師を求める運動を開始③K, s station in 秋田（10月6〜8日）に向けての取り組みと宣伝、を報告し議案を補強しました。

賃下げ・パワハラ

新潟は、「2017年度年間手当4ヶ月の計画に對し、3・74ヶ月しか支給されず交渉を継続。経営者が2018年度の年間手当計画を3・74ヶ月にしようとしている」と発言しました。

福島は、「パワハラを訴えた人の裁判を支援中。早期解決をして、仲間の職場

埼玉県厚生連は

病院を売却し解散

2016年、埼玉県厚生連は、熊谷総合病院を「社会医療法人・北斗（北海道）」に、久喜総合病院を「一般社団法人・巨樹の会（佐賀県）」に売却・経営譲渡し解散しています。

熊谷・久喜両労働組合は、全厚労加盟を継続し、一緒に運動を続けています。

復帰を目指したい」と述べました。

茨城 退職金守った

茨城は、「2年前前に経営者が退職金削減案を出したのに対し、交渉を重ねてきた。2018年3月31日に、1円も削減させず新制度

埼玉 熊谷総合病院

採用職員が職場に配置されず

熊谷総合病院労働組合からは、「2018年度採用職員は30名。初期研修で北斗が経営している別の病院に10名が派遣され、職場に配置されていない。7月にも5名行く予定。団体交渉で、目的などを聞くも明確な回答が得られない」

さらに、「経営者の娘が理事に就任し、就業規則の懲戒の部分細かくなった。解釈によっては、組合活動の制限にとらえられる」と報告がありました。

突っ込んだ議論必要

全体討論では、全厚労の基本方針として「組合員の

（中身は従来と変わらない）を協定しました。2018年度は15億円の赤字を出し、賃金を削る必要はない」と、改めて経営者案を否定。地域の病院の動きとして、「鹿嶋市、筑西市で病院統合の話がある」と報告しました。

生活と権利を守り、向上させる運動」「厚生連（協同組合）医療を守り、地域医療を充実させる運動」の2つの柱を最重要課題として取り組むことが提案されました。

参加者からは、「埼玉県厚生連の病院譲渡に対して、具体的にどのような支援をしたか総括し、方針を立てるべき」「憲法9条は大切と言いつつ、全厚労平和委員会ではなく、今年度ならではの力の入れどころがあつてもいいのでは」「賃上げは無理という議論も出ているので、もっと突っ込んだ議論が必要」などの意見が出されました。